

5・6年生の学習発表 「市木の未来を創造する」ができるまで

子どもたちの「自分たちの力で市木を変えるんだ」という、まっすぐで力強いエネルギーは、保護者たちの心を大きく動かしました。この発表ができるまでに、子どもたちにはどんな思いがあったのでしょうか？ 担任の末吉徹郎先生にお話を聞きました。

Q 発表のきっかけは何だったのですか？

5月に「社会は変えられると思いますか」という質問をしたことがあります。その時の回答です。

→ **変えられる 3名**

世界中の人と協力して世界を変える／夢をあきらめなかつたらいつか変わる／あきらめていたらできるものもできない

→ **変えられない 12名**

大人が決める／現実は甘くない／1人じゃ無理／普通の人は結局あきらめる／人は自分の事しか考えない／そんな権力はない／別に変えたいと思っていないなど

！ **変える方法は何か？**

変えたい人の意見に賛成する／偉い人に助けてもらう／天才を生み出す／上の人に話す／人間を消すなど

そこで「自分たちには、社会を変える力がある！」と実感できる機会が必要だと考え、9月から総合的な学習の時間で、身近な地域である市木について取り上げることにしました。

Q 学習はどのように行ったのですか？

まずは親、地域、児童にインタビューして、市木の課題を洗い出していきました。その後、インタビュー結果を分析し、解決事例を探し、提案を作っていました。最初のころの生徒たちは、市木のことを調べたいとか、よくなつてほしいとは思っていました。



子どもたちに社会を変えられる！ という意識が出たのは、親や地域の方たちが子どもたちの思いに共感して、実際に行動に起こしてくれているから。
子どもは大人の鏡



編集後記



卒業おめでとうございます。皆さんの協力を得て、卒業生ページができました。ありがとうございます○日高まゆみ



可愛らしかった皆さんが頼もしくなって！自分だけの素晴らしい人生に向かってGO！わくわくしながら楽しんでね！応援しています！○吉川文



最近うれしかったことは、畑の雑草の種類が増えたことです○高橋悠希



皆の絵をまとめながら子ども時代を思い出したでござる。吾輩も図工だけ大得意でござった○高橋素晴



初めての市木小学校での持久走大会。初めてのPTA新聞作成。ドキドキしながら取り組みましたが、色んな方に助けて頂き何か完成しました。子ども達の真剣な眼差しと青空、美しいあの瞬間が少しでも伝われば幸いです○野村美佳



市木に交流ランウニの出現。子どもたちが自由に待ち合わせして遊べる場に感謝！そして、ランウニで編み物会を開いてみたら…地域の方と子どもたちとの素敵な交流が生まれましたよ○谷端晶子



学習発表会に感動したので、気合いを入れて制作しました。君たちの情熱、確かに受け取ったんだぜ！ また子どもたちと一緒にPTA新聞作りたいな。ヘアバンドの編集長より○水野千乃